



こころの中を見つめよう  
博愛を広げるために

国際ロータリー会長  
カルヤン・バネルジー

Rotary International

週報

— さあ、今こそ我等の出番だ —

2011~2012年度 会長 濱仲 幸弘

Vol.46 No.34 平成 24 年 3 月 13 日

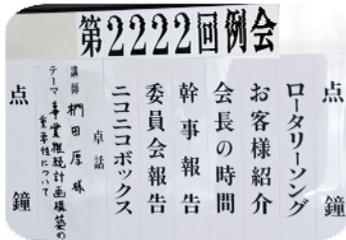


国際ロータリー第 2750 地区多摩中グループ  
東京国分寺ロータリークラブ

第2222回 例会報告 — 3月13日 —

本日の司会

古川 S A A 委員



ロータリーソング

『それこそロータリー』

お客様紹介

濱仲 会長

○ 梶田 厚様

(株)日立製作所人材統括本部 リスク対策部担当部長

会長の時間

濱仲 会長

昨日、第7回多摩中グループ協議会が国分寺矢野ビル地下「ボンジョルノ」で行なわれました。議題は、①青少年交換留学生の受入について、②ガバナー補佐・グループ幹事各クラブ訪問(お礼参り)の日程確認、だけでして、今年度も終わりに近づいているなと感じました。次回、最後のグループ協議会は新旧会長・幹事・事務局の合同打ち上げ会になるはずですが、4月16日に創立20周年記念式典を控えている武蔵国分寺RCのように、まだまだ肩の荷を下ろせないクラブもありますが、概ね日程の消化に入っているクラブが多いようです。国分寺もそうですね。残るは、観桜例会、親睦旅行、世界大会、最終例会ということで、今一番頭を悩めている関口さん、飯沼さんと違って、気が楽になったところです。私としては、後一踏ん張り、親睦行事に努めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。さて、冗談はさておき、昨日の唯一の議題でありました交換留学生受入の件ですが、地区青少年交換委員会から再度のお願いに来るはずだった委員がドタキャンで欠席されたので、何とかその場は話題にならないで済みました。しかし、別れ際に藤波ガバナー補佐から「国分寺さん、何とかならないか・・・」とぼつりと呟かれました。ガバナー補佐にとっても、頭の痛い問題であるようです。国分寺の現状を考えると、申し訳ないけれ



ど、これからも断り続けるでしょう。実際の受け入れは次年度になってからのことであり、今後別の機会に関口さん・飯沼さんにプレッシャーがかかってくるのではないかと危惧しています。まあ、よろしくお願いします。先週の会長の時間でも触れたのですが、宮城県塩釜市浦戸フェリー事業に対する支援ですが、支援金届出書に会長の署名をし送付させていただきましたので、近いうちに実現するはずですが、結果が出ましたら改めて報告させていただきます。震災から1年経ちました。3月11日の特別番組を見ても、一部の復旧工事は進んでいるのですが、しかし、本格的な復興事業は、実は何も手が付けられてないのではないかとこの思いを強くしているところ。1年というのはあくまでも通過点です。これからも忘れることなく東北の状況に関しては見守り続けていきたいと思えます。川畑会員の退会セレモニーは次々週に行なう予定でしたが、例会に来られるのは今日が最後となってしまいましたので、川畑会員にご挨拶をお願いしたいと思います。ささやかながら退会の記念品をお渡しします。3年間ありがとうございました。お住まいは小平ですので、落ち着いた頃、後任の方と歓送迎会を開催したいと思います。どうか、新天地でもご活躍ください。

○ 退会の挨拶：川畑 会員

只今、会長からご紹介頂きましたとおり、今月いっぱいを持ちまして、転勤を命じられまして、中央研究所を離れることになりまして、それに伴い、2009年4月から、まる3年間国分寺RCの仲間に加えて頂きまして、過ごしましたけれども、残念ながら退会となってしまいます。今日、卓話をして頂く梶田さんが日立中央研究所の前任でいらっしやって、それを引き継ぎまして、こちらのロータリーに参加させて頂きましたけれども、振り返ると、この週一回の例会、それから、いろんな行事がありまして、下手をすると、会社の中である人たちよりも、より濃密に過ごしたかというふうに感じております。来たばかりの頃、国分寺は初めて、東京は初めてですし、いろんな面で分らないことだらけでしたが、皆さんのお陰で非常に、会社生活も含めて、いろんなことをお世話になり、教えて頂きましてありがとうございます



いました。本当にあつと云う間に過ぎてしまった3年間でありましたけれども、ここで作っていただいたこの縁を大事にしながら、過ごして行きたいと思えます。今度4月からは、日立の研究所、同じような研究所ですが、横浜の戸塚駅から歩いて10分くらいのところにある研究所の総務部総務部長として、勤めることになりまして、実は、こちらに転動してから、小平に家を持ち家としましたので、多分、通うか単身赴任するかと云うことでありますから、生活の拠点としては、こちらの方にありますので、また、国分寺の街中でも、皆様と会う機会があるかと思えますけれども、その時は是非声をかけて頂きたいと思えます。いずれにしても、この3年間、特に今年度は親睦委員長と云うことで務めさせていただいて、年度途中で申し訳ないですけれども、社命によりましてと云うことで申し訳なく思っております。親睦委員長の後任は、山内さんに御願いますことになっておりますので、是非宜しく御願います。と云うことで長々となりましたけれども、本当に3年間お世話になりました。有難うございました。

## 幹事報告

## 高橋幹事

①3月15日八王子CCに於いて、多摩中G震災復興支援親睦ゴルフがあり、国分寺RCから、9名参加予定ですので、参加する方は宜しく御願います。②5月の例会予定を変更させて頂きたいと思いま



す。5月1日は公休、5月8日も世界大会に参加する方がいますので、公休とさせて頂きます。5月22日はガバナー補佐、グループ幹事の訪問になります。③5月29日は、今年度の親睦旅行を開催したいと思っています。今、企画しているのは、福島のパリゾート・ハワイアンで1泊になるかどうか、旅行会社の方に問い合わせ中です。④3月12日、多摩中G会長幹事会が開催されました。2011/2012会長幹事会はこれが最後となりました。

⑤6月18日(月)に多摩中G新旧合同打ち上げ会が行われる予定です。今期も後、3ヶ月なのですがあつと云う間に過ぎてしまうのではないかと思います。

## 委員会報告

### 出席委員会

### 手塚委員

会員数：39名 免除：7名

メーキャップ済み：0名

欠席：2名 出席率：93.8%

≪ 前々回の訂正 ≫

メーキャップ済み：1名 欠席：2名

出席率：90.3% → 93.5%



## ニコニコボックス

## 山内親睦副委員長

濱仲会長・高橋幹事：川畑さん短い間でしたがありがとうございました。また、どこかで再会できる日を楽しみにしております。梶田様、ようこそおいで下さいました。卓話よろしく願います。谷田会員：若い時、西暦2000年迄は生きていたかったことがありますが、12年もオーバーしました。毎日、感謝、感謝の気持です。山内会員：①小椋会員、照木会員ホワイト・デーのプレゼントをありがとうございました。まだまだ受け付けています。②川畑親睦委員長の御栄転を祝してニコニコ致します。桑原会員：2月の出席が悪くすみません。3月より次年度に向けて頑張ります。照木会員：川畑親睦活動委員長殿3年間にわたる長期間、国分寺RCそして地域活動にご尽力いただきありがとうございました。世界の日立さまの更なるご発展、川畑さまの益々のご活躍をお祈り申し上げます。今後共、川畑さまとの「絆」を大切にしていきたいと思えます。川畑会員：国分寺RCに入会させて頂き、丸3年間経ちましたところで転動となってしまいました。年度途中での退会となり、心苦しいですが、本当に皆様方にはお世話になりました。ありがとうございました。4月から横浜での勤務となりますが、住まいは国分寺寄りの小平ですので、今後も引き続きよろしく願います。



## 社会奉仕委員会

## 近藤次年度委員長

3月9日(金)に次年度の社会奉仕委員会が召集されました。その報告をさせて頂きます。その日の構成ですが、2750地区の中の各グループから1名ずつと云うことで、8名でどういふ訳か国分寺RCから選ばれました。その8名と地区幹事と地区副幹事、委員長、副委員長の合計12名が招集されたようですが、当日は8名の出席でした。どういふことがあったかと云うと、ロータリーの中にはどういふ組織があるかと云う話を聞かされました。いろいろ、変遷があったようですが、6つの委員会に分かれており、さらにその中の私共が所属しているクラブ支援委員会の中もさらに、5つの委員会があります。その他、ロータリーの手続き要覧2010年版についても説明されました。社会奉仕と云うものは、ロータリアン一人ひとりが、超我の奉仕をする機会が大前提にあると云うことで、いろいろ細かく説明がありました。これから皆の意見を取りまとめた上で80ある各クラブの方針を、各ガバナー補佐に担当のグループの方針を取りまとめて貰うように要請し、取りまとめたものを4月5日の地区委員会で全体の社会奉仕委員長が発表すると云う予定だそうです。今まで、地域社会奉仕リポートを出していましたが、結構お金が掛かっ



ており、パンフレットを出してもあまり読まれていないと云うことで、これはやめようと云うことでした。

## 副幹事からのお知らせ

## 飯沼副幹事

そろそろ、次年度の準備が始まりますので、各理事役員、委員長の方には、FAXで連絡したと思いますが、4月11日に2012／2013年度の地区協議会が開催されます。次回の例会が休みとなりますので、今週中に事務局の方に出席の返事を頂きたいと思います。



## 卓話

### ○卓話講師の紹介：川畑会員

本日の卓話の講師の梶田様をご紹介します。梶田様は現在、日立製作所本社の人材統括本部のリスク対策担当部長と云うことです。3年前まで中央研究所におられました。その後他の部署に異動さ



れ、昨年10月にいまの部署に移られたということです。現在の担当は、今日の卓話の題名であります事業継続計画ということでありまして、それに留まらず今日は、先般、タイの洪水の時には、現地にも何度か行かれていますので、その時の様子を含めて、ご講話を頂きたいと思います。

### ○卓話：「事業継続計画(BCP)構築の

### 重要性について」梶田 厚様

現在、日立製作所のリスク対策部で、いわゆる企業のリスク対策のことをやっております。リスク対策と云ういろいろなものがあります。私の担当しているのは、事業継続計画(BCP)というもので、会社が儲かると

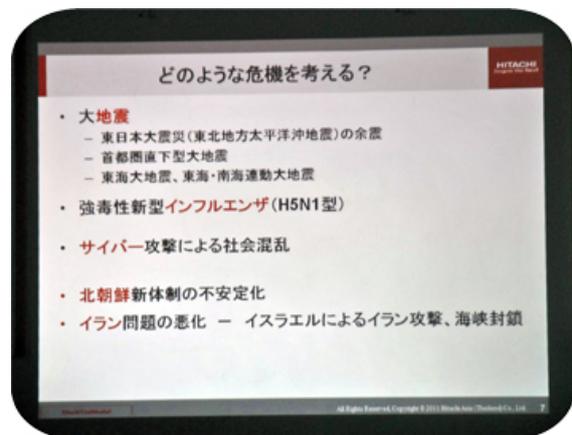


か儲からないということではなくて、会社がきちんと仕事をやって行くために必要なことを考えて実行すると云う、そう云うことをやっています。対象となっているのは、日立グループで、世界全体では約1,000社940万人であります。今は、国内中心でやっております。私は昨年10月から、今の部署に異動したら、いきなり、タイの方に行かされて、タイの部長が、たまたまアメリカに出張していて、その行く間にタイが危ないらしいぞと話になって、その出張で、行った直後に対策本部を立ち上げて、いろいろ仕事をやってきました。それから、部長がアメリカから戻って来て、その部長がタイに10日間行って、その後もう一人が1週間行って、私も最後に、水が引くというところで2週間行って参りました。また、その後の確認に、先週行って参りました。そう云う話を中心に話をいろいろさ

せて頂こうと思います。今日は、「事業継続計画構築の重要性について」と云う題名を頂いておりますが、事業継続計画と云うのは、簡単に云うと、事業をやるにはいろんなリスクがあります。いろんなことが起きると、やっぱり一旦止まったりするおそれがあります。それで、止まらないようにしよう、止まっても出来るだけ期間を短くしようとするのであります。これを簡単に云うと事業継続計画あるいは事業計画管理とか云われているもので、なぜこんなことをやるかと云うと、事業継続計画と云うのは、それぞれの企業とか団体とかは、社会との係わり合いの中でやっています。それぞれが大切な仕事の役割を担っているから、それがなくなったら困るでしょうと、だから世の中に貢献したり、社会に大切な企業として、ちゃんと維持したい。やっぱり、災害とかテロみたいな大規模な犯罪とか、戦争とかいろんなことがあるけれども、自分たちがやっている仕事とちゃんと継続されて、お客様方に必要なものが届くかと云うのが事業継続計画と云うところでありまして。ここで、早速、タイの話に移ってしましますが、タイの国境には、ミャンマー、ラオス、カンボジア、ベトナム等で、ニュースを聞いていて、政治は騒乱があったりとか、民主化とかいろんな話があったりして、それほど安定している国ではない、でも東南アジアですから、アセアンですから、どんどん成長しているとか、そう云うイメージがあると思います。実際そのとおりでして、政治的には、ベトナムは安定していますけれども、それ以外の国は、ガタガタしています。タイも政変があったりして、それほど安定した状態ではないです。タイと云う国、地図で見ると、大きな平野があり、ここにバンコクがありますが、この平野の大きさは、関東平野の縦4倍、横2倍で、標高差20mで、全く平らで、物凄く広いところです。この平野には、川がいっぱいあり、入り乱れております。タイは洪水で大変でしたが、皆さん洪水と云ったら、どっと水が出て、引いて行くというイメージでいると思いますが、一番初め、工業団地に浸水したのが、10月6日だったのですが、10月10日に日立の工業団地が浸水したのです。タイの洪水は、我々がイメージする洪水と全然違うのです。10月10日に浸水しましたが、11月23日になっても、まだ、かなり浸水したままの状況でした。今回、後から、分ったのですが、こんな何で気が付かなかったのかと云うと、体験してみなければ分らないと云うところがあり、先週も行って来たのですが、完全に水は引いていました。こういう災害と云うのは、今回、東日本大震災でも、結局、何だかんだと言って、津波は、相当、昔から、大津波の記録があったが、それを生かせなかったというのがあります。地震の対策というのは、どのように今までやって来たかと云うと、関東大震災で、火事で沢山死んだということであり、防災、防火、如何に延焼を防ぐか、如何に初期消火するかなどで、阪神淡路大震災の時に、何千人も亡く

なったけれども、殆どが建物の倒壊だそうです。あれは、直下型で、いきなり来たから倒れたということでしたが、今回、津波ということで、全て防げる訳ではないし、如何にハード面、構造を強くしたりすることも必要ですけど、如何に逃げるかとか、逃げる時に何を持ち出すか。ということも、きちっと考えておかなければいけないのです。今、私達がどんな危機を考えるかと云うと、やっぱり、地震です。今、余震が怖いです。スマトラの大地震でも、M7.7の一番大きな余震が5年後に起きています。今も東北地方は、しょっちゅう余震があります。それでも震度5弱で、これが、震度5とか6と云う余震がいつあるか、分らないと云う怖さがあります。それから、最近云われているのが首都圏直下型大地震です。今日、起こってもおかしくないし、30年・50年経っても起こらないかも知れない。こればかりは分らないですね。でも、やっぱり、備えはあった方が良く、それから、東海大地震と連動地震、も予想されており、我々は、先ず、地震対策を考えなければならない。次に、インフルエンザです。2009年、豚インフルエンザと言って大騒ぎしました。それは大したことが無かったのです。インフルエンザは大したことが無いと思われているかも知れませんが、実はインフルエンザの危険と云うのは、全然去ってなく、インターネットでWHOが鳥インフルエンザで病気そして死んだ人を毎日報告しています。2003年から、過去約10年間に世界で東南アジアを中心に鳥インフルエンザに罹った人が約500人強、その中の6割が死んでいます。鳥インフルエンザは普通、鳥同士しか罹らないインフルエンザではありますが、その中に、たちの悪いのがあって、共存インフルエンザと云われていますが、インフルエンザで死んだ鳥の死骸を触ったりして、人に移る場合があります。罹ってしまうと6割が死んでしまう。死ななかつた人のほとんどが、罹ってすぐタミフルを飲んだ人。でも、この鳥同士しか罹らないインフルエンザですが、インフルエンザと云うのは突然変異が激しいので、何時、人に罹るようになるかもしれない。罹るようになった時は、我々は免疫を持っていないから、一気に広がってしまう。1918年にスペイン風邪が流行って、その時、全世界で数千万人亡くなったと云われています。鳥インフルエンザはそれ以上と云われているので、これの対策、実は今、その為の特別対策措置法というのを国会にあげる準備をいろいろやっていて、それには、私どもも多少係わっているんですけども、早ければ3月にあがる可能性もある。それから、最近、サイバー攻撃による社会混乱です。それから、心配なのは、北朝鮮とかイランの問題があります。イランの問題というのは、本当にいやらしくて、イスラエルが攻撃するのではないかと、その可能性が高いのではないかと云うのは、我々、実は、そうなった時に、石油の供給がストップしたり、物凄い打撃が全世界を襲うだろうと。何とか、政治の力

で、解決出来ないものかと思えますけど、これは、何時、こういうことが起きるか分かりません。それから、今年は選挙の年と云われています。ロシア、フランス、中国、アメリカ、韓国、カンボジア、いろいろ変わりそうなので、いろんなことに、備えていなければなりません。最後に、申し上げたいのは、事業継続計画というものを、私共がやっているのは、皆さん方一人ひとりの仕事が大変大切だから、それを絶やさないようにしようとするために、やっています。それから、最後に、一番大切なことを申し上げます。このような、対策をやる上で、自助、共助、公助がありますが、一番大切なのが、自助です。皆さん方が、自分一人ひとりが身を守るしかない、次に大切なのは共助です。お互いに助け合う、と云うのは、今、付き合っている同志です。公助は、政府、国分寺市、いろいろ考えてやっていることでしようけれども、我々一人ひとりが自分を守るということ、ロータリーの活動のように、知らない人を助けるということは、なかなか出来ないですが、普段付き合っている仲間同士で助け合うというのは、実は、こういう事業継続計画とか地震に対する備えとか、大切だということです。そういうところをかいつまんでお話ししました。



国際ロータリー 第2750地区 多摩中グループ

## 東京国分寺ロータリークラブ

会長 濱仲 幸弘 幹事 高橋 正典  
会報委員長 小向 将介 副委員長 山内 千枝

事務所・例会場 東京都国分寺市南町3-20-3 国分寺ターミナルビル8階  
Tel.042-322-6480

編集・印刷 (株)スプリングフィールド 国分寺市本町3-8-12 Tel.042-320-5601  
URL: <http://www.tokyokokubunjirc.org/>